

椅子、テーブルのナグリ加工について

1. 椅子のナグリ加工

今回の椅子の依頼は椅子の座面、背板が桐材でt25有り、そこにナグリ加工を施し、フレームは桐に近い色合いのホワイトアッシュ材で組み立てるものです。

桐ナグリチェア

S=1/10

仕様

フレーム：ホワイトアッシュ

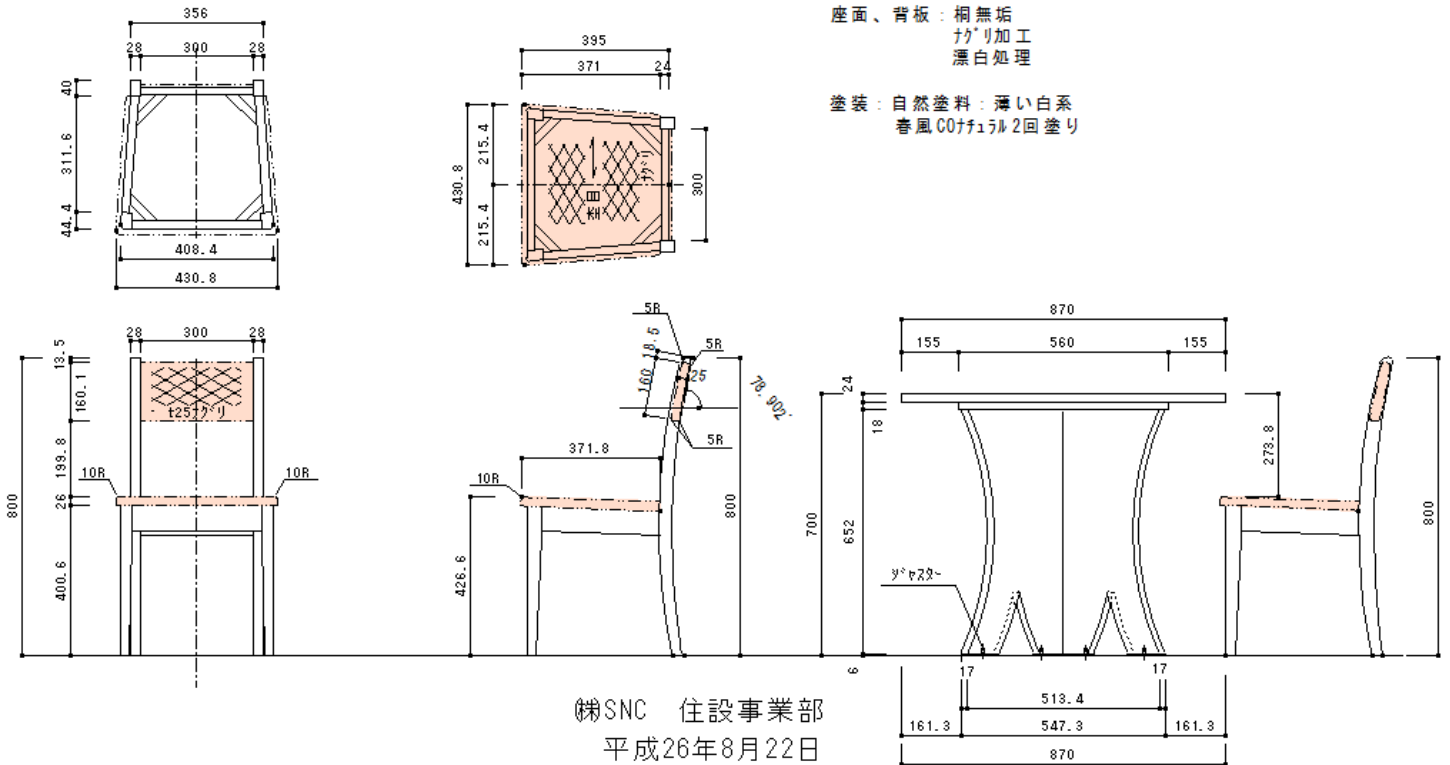
座面、背板：桐無垢

ナグリ加工

漂白処理

塗装：自然塗料：薄い白系

春風COナチュラル2回塗り



株式会社SNC 住設事業部
平成26年8月22日

- ①座板、背板もナグリ加工をしてから亜鉛素酸ナトリウム 25%水溶液で漂白し、十分乾燥させます。
- ②水分を吸って表面が荒れますので#400 程度で研磨し、ナグリ形状を残しながら、浮造仕上げのように仕上がってきます。
- ③ここで自然塗料の春風 CO ナチュラルを2回塗りします。

この春風は自然塗料としては乾燥が早く、使い易い。

*** 桐を使用する場合、アク抜きするための漂白作業が必要でナグリの形状によっては研磨により、ナグリがぼける可能性もあります。

座面、背板の桐材は軽いし、桐特有の断熱効果で冬でも座面の冷たさを感じない。そして、柔らかさがあります。確かに、傷もつきやすいですが、濡れタオルで部分補修も可能です。

また、手入れは水拭きを避けて、空拭きをお願いします。本当にひどい汚れはサンドペーパー#400 程度で研磨して再度と自然塗料を塗ります。



桐座面 NC 加工状況。



桐座面を亜鉛素酸ナトリウム 25%水溶液にて漂白し、乾燥状況。



桐背板を亜鉛素酸ナトリウム 25%水溶液にて漂白し、乾燥状況。



ホワイトアッシュフレームに
背板取り付け完了。

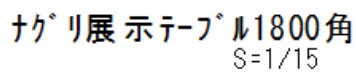


ナグリ加工椅子の完成

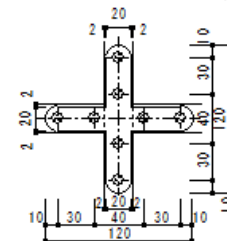
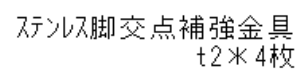


椅子の使用状況。
 テーブル天板：シナ合板、ガラス塗料仕上げ
 テーブル脚：ポリ合板、NC 加工
 脚形状：樹木根のイメージ

テーブル天板はメルクシパイン集成材でこれにナグリ加工を施します。



天板：ルウマ®の集成材t30
剥ぎ加工900*1800* ϕ 30*2枚
反り防止35*35
塗装：カヌシ塗料
脚：固定天板t18、 ϕ 100MR6900、白
脚t24、 ϕ 100MR6900、白、差込固定
アジャスタ-Lamp TG20*32箇所、 ϕ 100M8*32箇所
脚小口、天板小口：平行柄 1.5C、無塗装
* ϕ 100箇所木部取り付け*32箇所
*脚：アイソキリ差込



(株)SNC 住設事業部
平成26年8月22日



天板ナグリ状況。

展示テーブル仮組み状況。



展示テーブル使用状況。

天板：メルクシパイン集成材、ナグリ加工

脚：ポリ合板、NC加工

脚形状：樹木根のイメージ

ナグリ加工によって単なる板が思いきり表情が変化し、杢目の変化、肌触りの変化、デザインの規則性、不規則性など、思いがけない変化の出会いを感じます。

㈱SNC 住設事業部 Da・Monde 鈴木

平成 26 年 10 月 14 日